

課外活動の再開に関する留意事項（7月13日以降）

課外活動の再開に当たっては、以下を参考に、感染予防対策を講じた上で実施してください。皆さん一人一人の心掛けと行動で、今後の活動平常化に向けての協力をお願いします。

■体調管理について

- ・各個人の日常的な健康観察を欠かさず徹底し、体調の変化について意識すること。毎日自宅で体温計測を実施し、体調記録を必ず付けること。
- ・発熱（37.5℃以上）、咳、咽頭痛など風邪症状がある者、体調不良者は活動に参加しないこと。

■感染予防について

1. 平素から感染予防、感染拡大防止を念頭に置いた生活行動を心掛けること。
2. 課外活動・サークル団体として、各活動日に参加した者の記録を必ず付けること。
3. マスクを着用し、飛沫感染の防止に務めること。ただし、十分な呼吸ができないことによる身体への影響や熱中症等のリスクもあるため、人との十分な距離を確保した上でマスクを外すなど、臨機応変な対応を行うこと。
4. 手洗い、うがい、手指の消毒等を励行し、接触感染の防止に努めること。
5. 「3密（密閉、密集、密接）」の回避を徹底する。部員同士が密集する活動、接触・密接する活動、至近距離となる活動は行わないこと。また、屋内においては、十分な換気を行うこと。
6. 活動中、対人距離（1m以上、可能な限り2m）を確保すること。また、強度の高い活動においては必然的に呼気が激しくなるため、より一層の身体的距離を確保すること。
7. 必要以上に大声での会話は行わないこと。
8. 更衣室については、可能な場合は利用を控えること。利用する場合には、利用前に手指の消毒を行い、利用後はロッカー等の共用部分を消毒すること。特に密になりやすい空間であることを意識して、十分な換気を行い、マスクを着用の上、会話は控えること。また、同時に利用する人数は概ね2mの感覚が取れる人数までとし、短時間で更衣を終えること。
9. 汗拭きタオル、水分補給のボトルは個人で使用し、共有はしないこと。
10. タオルの使用は手洗い後が望ましいが、不可能な場合は消毒薬（※）で手指を消毒してからの使用を推奨する。また、直接手で顔を触ることによる接触感染のリスクを低減させるため、可能な場合はリストバンドの使用も考慮すること。
11. 活動中、また活動終了後の集団での飲食を伴う会合は行わないこと。また、熱中症対策のため水分補給は必要に応じ行う必要があるが、ボトルなどの回し飲みは行わないこと。
12. 接触感染予防のため、多数の人が触れる用具等については、適宜拭き取り清掃や消毒を行うこと。また、活動中に出たゴミは、ビニール袋で封をするなど、適切に処理すること。
13. 関係団体・連盟・協会等が新型コロナウイルス感染症予防のガイドラインを作成している場合は、そのガイドラインも参考に活動すること。

■その他の留意点

- ・活動への参加の強要、また不参加に伴う不利益な取り扱いをしないこと。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染が疑われるとき、また、濃厚接触者が出た場合は、早急に指導者、顧問教員、所属部局等に連絡を入れ指示を仰ぐとともに、学生センターにも電話又はメールで連絡してください。

【各キャンパス学生センターの電話番号・メールアドレス】

- ・吹田学生センター 電話 06-6879-7120 gakusei-sien-sa1@office.osaka-u.ac.jp
- ・豊中学生センター 電話 06-6850-5022 gakusei-sien-sa2@office.osaka-u.ac.jp
- ・箕面学生センター 電話 072-730-5081 gakusei-sien-sa1@office.osaka-u.ac.jp

※ 消毒薬について

使用する消毒薬の例としては、(1) エタノール、(2) 界面活性剤、(3) 次亜塩素酸ナトリウム等の漂白剤 などが考えられますが、コスト面から考えると、(2)の界面活性剤が準備しやすいと思われます。

具体的には、「ベンザルコニウム塩化物液 10w/v%」をドラッグストア等で購入し、それを200倍に希釈して使用します。(目安としてキャップ1杯を水道水1リットルに溶かす。)

手指の消毒と器具の消毒を兼ねることができるので、これをスプレーボトル等に入れて用意しておく使いやすいでしょう。